

# グリーントマト

発行責任者 中田慶子  
〒850-8799長崎中央郵便局 私書箱第7号  
FAX 095-832-8488 DV防止ながさき  
HP : <http://www.no-dv-nagasaki.net/>  
E-mail [dv\\_greentomato@yahoo.co.jp](mailto:dv_greentomato@yahoo.co.jp)  
郵便振替口座 01730-6-103415

## 2022 謹賀新年

皆様、あけましておめでとうございます。新年早々、新型コロナウイルス感染症の急激な増加で第6派とされています。まだまだ当分はどこへ行くにも誰と会うにもマスクが欠かせない状況が続きます。意思疎通はやはり直接声を聴き、相手の表情を見なければと思いつつ、それが思うようにできないことは、とてもどかしいです。一方で、オンラインが急速に普及して、他県へ時間と費用をかけて出かけなくとも、全国の方々と会議をしたり、今までは旅費と時間であきらめていたような研修会に参加出来たりと、地方に住むことのハンディがやや軽減された良い面もありました。ものごとには、常に、悪い面だけではなく、良い面もあると思った昨年でした。

今年は2月の国会で配偶者暴力防止法(DV防止法)の改正がなされる見込みです。2001年に超党派の議員立法で成立、施行されて20年。当初から「被害者が逃げる」ことを前提にした法律のため、さまざまな限界がありました。身体的暴力や命にかかわるような脅しだけがDV防止法の「保護命令」発令の要件であって、精神的暴力や性的暴力の深刻さを反映していませんでしたし、加害者に対する対策もないままです。母親と一緒に逃げてきた子どもたちへのケアや、自立のための中長期の支援も法には位置づけが無い状態で、さらに、交際相手へのデートDVも法の対象になっていません。

DV防止ながさきでは、2004年から予防教育を進めてきており、長崎県内では必要性を教育現場の先生方が理解していただき、例年2万人近い高校生や中学生が受講できていますが、予防教育が教育カリキュラムに義務化されていないことから、全国的に見れば県や地域により大きな差があるのが現状です。

今回の法改正では、保護命令の要件に精神的暴力や性的暴力を含めること実現できそうです。現行の法律をどう変えていったらよいか、これまでも全国女性シェルターネットなどの団体が様々な働きかけをしてきましたが、引き続きよりよい法改正を求めていく必要があります。

昨年12月2日、内閣府男女共同参画担当特命大臣である野田聖子氏と男女共同参画局の林伴子局長が長崎を訪問、DV被害者支援の現場を時間をかけて視察、関係者と車座懇談の機会を持たれました。

長崎県の配偶者暴力相談支援センターの相談員やNPOのスタッフ、被害当事者の方も車座懇談に参加する機会を得て、率直に現状の法律の限界や当事者が抱える困難さについて訴えることができ、野田大臣、林局長も熱心に耳を傾けてくださいました。この訪問は、長崎県が平成23年以來行っているDV被害者支援の「長崎モデル」の視察のための訪問で、官民協働の意義、中長期支援の必要性をご理解いただけたのではないかと感じられ、今後の法改正や施策、被害者支援の予算の充実に反映されることを切に願うものです。

理事長 中田慶子



車座懇談の野田大臣



# 「DV根絶のための連続講座」



令和3年11月28日（日）9：30～16：30 アマランス研修室

アマランス（長崎市男女共同参画推進センター）との共催で実施している「DV根絶のための連続講座」が今年度も開催されました！

タイミング良くコロナの感染も落ち着いたので、対面での開催が実現できました。各方面へのご案内、ふれあい掲示板での広報などの成果が、今年度は延べ248人の参加があり会場は満席に近い状況でした。参加者も、相談に携わっている方だけでなくDVに関心を持ってくださった方も多く、広がりを感じるのと同時に、設立当初から休まず続けてよかったと感じた次第です。まさに「継続は力なり」。今回も様々な立場からのDV被害者支援の現状が、講師の方々から伝えられました。1日で6講義の受講というハードスケジュールでしたが、皆さん熱心に聞いておられました。換気のため窓を開けていたのにエアコンが使用できず、寒い中、本当にお疲れさまでした！



## 感想の一部を紹介

- ・もっと長く詳しくお話を聞きたい(複数) ・内容が充実していた
- ・様々な分野の方々の話が一度に聞けて良かった ・具体的事例をもっと聞きたかった
- ・警察での支援であったり、児相の事例であったり長崎という小さな地方でさえも、こんなにDVの被害で苦しんでいる方が沢山おられるんだということを改めて実感した1日でした。
- ・DVの問題は多様化してきていて、幅広く深いものだと感じた。特にDV被害者支援と加害者対策、今後の展望が印象に残った。

回	内 容	講 師
1	「DV・DV法・予防教育」	NPO法人DV防止ながさき
2	「DVと警察」 ～警察のDV対応について	長崎県警察本部生活安全部人身安全対策課 課長補佐 三浦 寿史 さん
3	「被害者支援と加害者対策、今後の展望」	NPO法人dv対策・予防センター九州 理事長 原 健一 さん
昼休み ※「同意とは何か」のアニメーション（紅茶の同意・kids版）上映		
4	「児童相談所のdvケース」	長崎純心大学人文学部 准教授 柿田 多佳子 さん
5	「DVと福祉サービスの連携」	あいさぽーと居宅介護支援事業所 代表 大峰 史子 さん
6	「長崎で取り組む加害者更生プログラム」	ながさきDV加害者更生プログラム研究会 副代表 佐藤 紀代子 さん
7	まとめ（質疑含む）	NPO法人DV防止ながさき

## ～長崎県委託事業～ DV被害者の支援者研修会

### 「DV被害者支援に必要なジェンダーの視点 第2弾」



令和3年10月24日（日）にメルカつきまちで研修会を実施しました。講師には昨年に引き続き**福田由紀子さん**（久留米市のユキメンタルサポート代表、臨床心理士・公認心理士・認定フェミニストカウンセラー）をお迎えしました。

今回は会場での対面と、オンライン参加を組み合わせた「ハイブリッド形式」で実施。

会場18名、オンライン9名、計27名の方が参加されました。

福田先生のお話しはとても分かりやすく、ジェンダーについての理解も深まりましたし、グループに分かれて実施した「（架空）事例検討」も皆さんにとっても好評でした。今回学び得たことを皆さんがそれぞれの活動の場で、活かしていただければ幸いです。福田先生ありがとうございました＼(^o^)/

#### 感想（一部）

「事例検討へのアドバイスが具体的で、日々の支援に役立てると思った」

「ジェンダーの視点から考えることを視野に入れることの大切さが分かった」

「夫婦間の問題だけでなく、子どもまで含めて問題を捉え支援を考えていくことが必要」

## 2021年（令和3年）度 DV予防教育指導者養成スキルアップ講座

長崎県の委託事業として毎年開催しているDV予防教育の指導者養成講座は、昨年と同様にオンライン形式で、8月21日と22日の2日間に分け基礎講座とグループワークを実施しました。

参加者は教員、相談員、大学生など21名。

皆さんとても熱心に受講されていました。またオンラインということで遠方からの参加者も多く、コロナも悪い事ばかりではないなと感じました。

1日目は、DV・デートDVに関する基礎知識、DVが及ぼす子どもへの影響や予防教育の必要性など盛りだくさん！特に今年はSDGsの取り組みが活発化する中で、DVやデートDVに直結する『ジェンダー平等』についてもじっくり学ぶ良い機会になりました。

2日目のグループワークでは模擬授業を実施。経験者や初めて授業を経験する人まで様々で、しっかりと実践を積まれたのではないかと思います。

参加された皆さま、2日間本当にお疲れさまでした！

今年度は参加できなかった方も、来年度は是非ご参加ください♪

#### 感想（一部）

「オンラインだから参加できた」

「予防教育の必要性を改めて実感した」

「来年度も参加したい」といった声が寄せられました。





## 全国女性シェルターシンポジウム2021 in 徳島

昨年度延期となったシンポジウム「テーマ：I hope～ジェンダー平等社会の実現を～」が令和3年9月25日(土)・26日(日)にオンラインで開催されました。

感動的な文楽の上映や講演、トークセッション、分科会と盛り沢山でした。

コロナの影響で延期となったことで、実行委員の方・関係者の方は想定外のご苦勞もあったことと思います。本当にお疲れさまでした。

オンラインも便利で良い面もありますが、普段はなかなか会えない人たちだからこそ、対面でお話できる機会はとても大切な時間であると思います。

来年は対面で開催できますように！

### 「長崎市性暴力裁判、まもなく結審」

2007年に 当時の長崎市幹部職員から取材を口実にして性暴力を受け深刻なPTSDとなった報道記者が、12年後の2019年4月、損害賠償と謝罪を求めて市を提訴しました。それ以来、長崎の様々な女性団体とともに、証人尋問の傍聴、報告集会への参加など、この裁判を支援してきました。加害者は事件後に自死、その後も週刊誌、ネットの記事などで原告の精神的打撃は深刻でした。「平和都市」として平和・人権を世界に訴える市で、なぜこのようなことが起きてしまったのか。全国のマスコミの女性記者たちも声をあげ、全面的にバックアップしています。2月7日に結審、その後数か月のうちに判決が出される予定です。ジェンダー不平等な社会環境、被害に遭う側の落ち度を問う「強姦神話」の存在が事件の影響をさらに深刻なものにしています。すべての女性のために勝訴を願っています。

### ながさきDV加害者更生プログラム研究会からの報告



2021年9月から、参加者4名で第6クールプログラムの実施中です。昨年はコロナ禍において、オンラインでの実施に切り替えた時期もありました。

しかし、やはり対面式でないお互いの自己開示から気づきを得たり、「穏やかな言動」を体感したりすることは難しいと改めて感じます。

今年度はDV加害者プログラム試行事業として、内閣府から委託を受けての実施です。DV防止法の改正を目前に、DV加害者対策がどのように盛り込まれるのか、注視する必要があります。当会も今後は他機関（警察や児童相談所など）との連携システムを整備するなど見直すこともありそうです。

まだまだ課題の多いDV加害者プログラムですが、被害者の支援を念頭に置きながら、一つ一つ積み重ねていくことを大切にしていきます。

次期クールの参加者募集は、2022年3月以降を予定しています。

詳細は当研究会のHPに掲載しますので、必要な方へどうぞご案内ください。

お問い合わせ ながさきDV加害者更生プログラム研究会

電話 070-2833-7399

メール [info@nondv.com](mailto:info@nondv.com)

担当：佐藤

## 「ご支援いただき ありがとうございます！！」

- ☆国際ソロプチミスト（S I）長崎の例会で、デートDV予防教育事業への今年度の助成金をいただき、市内の高校での予防教育実施状況について報告してきました。
- 国際ソロプチミスト佐世保さまからも助成金をいただき、授業実施に使わせていただいています。このほか行政でも、予防教育実施の予算化をいただいているのは、長崎市（アマランス）、諫早市、壱岐市、大村市・佐世保市・雲仙市・平戸市・長与町です。
- 皆さまのご協力により、令和3年度はコロナ禍で学校行事も制限されるなか、中学と高校合わせて99校から授業のお申し込みがありました。
- ☆ララコープの「ララ元気ねっと特別支援補助金」で今年は苔玉作りを開催しました。
- ☆県民ボランティア振興基金を活用し団体のリーフレットを新たに制作しました。
- ☆R.B.G株式会社様より無添加の基礎化粧品をご提供いただきました。
- ☆個人単位でも様々な支援品を提供していただきました。

## 令和3年度「ララ元気ネット特別支援事業」のご報告

11月7日（土）に男女共同参画推進センター「アマランス」でララ元気ネット特別支援「苔玉をつかってフラワーアレンジメント！」を開催しました。

参加者は5歳から70代まで幅広い年齢で、スタッフを含め42名の参加でした。

まず、準備されたたくさんの観葉植物の中から好きな観葉植物を選び、幼児グループは、すでに出来上がったカラーの苔玉に目玉やりボンのデコレーションをしました。

なかには白い苔玉2個を重ねて雪だるま風苔玉にしたりと、それぞれ個性豊かなものが出来上がりました。小学4年生以上は大人グループに入り土を丸める苔玉作りから始めました。

器用にさっさと丸めて苔を張り付け糸で止める人、なかなかうまくいかず手伝ってもらいながら完成させた人など様々でしたが皆さんとても笑顔で楽しんでいました。

コロナ禍のこの2年間「集まる」ということがなかなかできず、

1年ぶりのフラワーアレンジに参加され「わあー久しぶり！」

という声があちらこちらで聞かれ、親子参加の方達はお互いの子ども達の成長ぶりを喜び、同窓会のような雰囲気も生まれ

「また来年もやりたい！」と早くも来年の話も出てました。

今回計画は立てたもののコロナの感染状況次第では延期や中止も考えなければと思いながら、なんとか当日を迎えることができました。

マンネリ化しないようにと毎回新しいフラワーアレンジを提案してくださる講師の丸野先生はじめ、皆さまのご協力のおかげで無事終えることができました。

ありがとうございました。（Y.S）



参加したご家族から  
家に飾りましたと  
写真が送られてきました

## ～赤い羽根募金「使い道を選べる募金」ご協力のお願い～

- 今年のテーマは「予防教育テキストのリニューアル」です。  
目標金額は**30万円**、2022年1月1日～3月31日の 期間限定寄付です。
- 振込用紙つきのチラシを同封していますのでご利用ください。  
\*お手数ですがATMでなく窓口での振込をお願いします。
- 来年（2023年）2月の確定申告手続きで所得税の控除ができます。

郵便振替口座 01870-8-22522 社会福祉法人長崎県共同募金会  
通信欄に「DV防止ながさき」への寄付とご記入ください



※昨年の赤い羽根募金では目標額（60万円）を超える寄付が集まり  
必要とされている家族に、冷蔵庫、洗濯機などの家電製品等を提供  
することができました。たくさんのご支援、本当にありがとうございました。

長崎の生理の貧困をどうにかしたい！

### 「ナプキン無料配布プロジェクト」の報告



「生理の貧困」という言葉を耳にすることが多いと思います。

単に「生理用品が買えない」ということだけではなく、その背景にある経済的貧困、虐待や経済的DV、親の無理解、性教育の貧困などにまで目を向け、必要な方に、どこでも無償でナプキンが手に入る環境を作りたいと令和3年9月15日、長崎市内の有志団体が「長崎の整理の貧困をどうにかしたい！『ナプキン無料配布プロジェクト』」を立ち上げました。当会も設立団体として関わってきました。最初の活動として令和3年11月5日～12月14日までクラウドファンディングを実施。締め切り日を待たず、初期目標120万円を達成！最終的には236万もの寄付が集まりました。

ご支援いただきました皆様、本当にありがとうございました。すでに昨年末から大学や町中のポイントのトイレでモデル的に配布。今年1月～3月には、アマランスなどの公共施設、小・中・高校のモデル校でもトイレなどに設置していただいています。生理はすべての人にとって大切な、命と健康にかかわるテーマです。次年度も継続的な活動を進めていきます。

右記のようにフォーラムを開催しますので、是非ご参加ください。

\*日時：2月23日（水）1時30分～4時30分

\*オンライン開催

お問い合わせは [aster.0707ngsk@gmail.com](mailto:aster.0707ngsk@gmail.com)

**フォーラム**  
**『生理の貧困』から考える**  
**—誰もが生きやすい社会へ—**

世界中には生理用品を購入することができない人がいます。その原因は貧困によるものや性別レトリック、経済力などの差別や偏見の根深さなどによります。  
私たち「生理の貧困」対策プロジェクト・ながさきは2021年11月より様々な施設でナプキンを購入できない女性に無料配布や相談センターにナプキンを配布する活動を行っています。  
このイベントでは私たちの活動報告とシンポジウムを開催して、これから長崎でどんな支援が必要かを話し合いたいと考えます。

**2月23日(水曜日/祝日)**  
時間 13:30-16:30  
場所 オンライン(zoom)  
長崎県労働福祉会館よりオンライン配信

内容  
13:30 開会挨拶  
13:35 プロジェクト報告  
14:00 シンポジウム

後援 (予定)  
長崎県、長崎市、長崎県医師会、長崎県産婦人科医会

主催 『生理の貧困』対策プロジェクト・ながさき  
お問合せ  
[aster.0707ngsk@gmail.com](mailto:aster.0707ngsk@gmail.com)







## お勧めの本 ～ステイホームのひと時に

### 「言葉を失ったあとで」

信田さよ子・上間陽子 筑摩書房2021

アディクション・DV被害者支援の第一人者の信田さんと、沖縄で若年女性の社会調査を続けてきた上間さんの二人の対談集。カウンセリングと社会調査の最先端でお二人が出会ってきた女性たちの言葉の数々をめぐるやりとり。どのページにもぐっと心に迫る言葉があふれています。

信田さよ子さんの講演会を6月19日午後、長崎で企画しています。ぜひご参加を。当会HPで予定をキャッチしてください！



### 「こころキャラ図鑑」

池谷裕二・監修 クリハラタカシ・画 西東社

「こころと上手につき合うちからが身につく本。人間の28の感情をキャラクター化！ 対象年齢4～9歳」と書いてありますが、99歳まで役に立つ本です。気持ちを言葉にする力の足りない大人こそ、読むべき！！ どんな気持ちもオッケー、どんな気持ちにもダークサイドとライトサイドがあると知ってほっとできる。



### 「10代の妊娠」

友だちもネットも教えてくれない性と妊娠のリアル  
にじいろ (著), 高橋幸子 (監修) 合同出版

「誰にも言えない……」「正しい知識が知りたい」みんなの疑問にこたえます

- ・妊娠したかも……どうしたらいい？ ・ピルって体に悪いの？
- ・出産したら学校はやめなきゃいけないの？

一生を左右するほど大きな影響を及ぼすこともある性の問題。10代の子どもたちのリアルな性の悩みを多数紹介。元養護教諭、現在は性教育講師として、多くの子どもたちの声に耳を傾けてきた著者が、10代の子どもたちにやさしく伝えます。大人だってちゃんとわかってなかったなあこの本を読んで思いました！



## DV防止ながさき第20周年記念講演

＊日時：令和4年6月19日（日）午後  
 ＊場所：勤労福祉会館  
 ＊講師：信田さよ子さん  
 （臨床心理士・公認心理士 原宿カウンセリングセンター顧問、RRP研究会代表理事、DV・AC・依存症などに長年取り組む。「母が重くてたまらない」「〈性〉なる家族」「加害者は変わるか」「家族と国家は共謀する」など著書多数）

＊演題、時間等は、決定次第、ホームページやチラシでお知らせしますので、この貴重な機会をお見逃しなく！

## 今後のイベントのご案内

☆令和4年1月22日（土）  
 13:30～15:30 アマランス  
 講師：黒崎伸子さん（元国境なき医師団日本会長・黒崎医院院長）  
 「私のキャリアストーリー  
 ～長崎から世界へ～」

☆令和4年5月14日（土）13:30～  
 映画上映とトーク  
 「SNS-少女たちの10日間」  
 この現実を知っていますか？みんなで考えよう、SNS上の性犯罪。1500円  
 長崎市図書館多目的ホール  
 主催：ながさきwomen'sラボ上映実行委員会 お問い合わせは以下へ  
[nagasaki.womens.lab@gmail.com](mailto:nagasaki.womens.lab@gmail.com)

## デートDV防止全国ネットワークの活動

昨年度に引き続き2021年10月から22年1月にかけて全国の中学・高校生を対象にデートDV予防教育の効果検証のためのアンケートを実施中。長崎県内でも中学校2校、高校2校、734人のご協力を得ました。結果は、右のフォーラムでも報告します。

「デートDV防止スプリングフォーラム」  
 令和4年3月6日（日）オンライン開催♪  
 今年のテーマは 「性暴力とデートDV」  
 申し込みはこちらへ<https://notalone-ddv.org>

## デートDV防止スプリング・フォーラム2022

毎年3月に、デートDV防止のために活動する皆さんと一堂に会し、学び合う機会として開催しているデートDV防止スプリング・フォーラムは今年で10年目。

今回のテーマは、「性暴力とデートDV」です。性暴力は、親密な関係において、最も多く起きます。デートDV防止全国ネットワークは、すべての子どもたちにデートDV予防教育を届けることを目指して活動していますが、デートDV予防教育において、同意のない性行為は性暴力であること、そして、対等な関係を築くことの大切さを伝えていくことこそ、性暴力をなくしていくことに繋がります。本シンポジウムでは、刑法改正の必要性を学び、子どもへの性暴力の実態に向き合い、包括的性教育からデートDV予防教育の可能性について考えます。さらに、特別講演として伊藤詩織さんを招き、「性的同意」について見つけ直します。

「わたしかわたしであるために」-性的同意-

伊藤詩織さん：映像ジャーナリスト



「同意のない性行為を性犯罪へ  
 ～性被害の訴えに応えられる社会へ」  
 山本 潤さん：SANE(性暴力被害者支援看護師)  
 (佐藤光信撮影)



撮影：Hanna Aquilin



「子どもへの性暴力～取材の現場から」  
 大久保真紀さん：朝日新聞編集委員



「国際セクシュアリティ教育における包括的性教育とは？デートDV予防教育の可能性」  
 長 香織さん：宇都宮大学准教授

開催：2022年3月6日（日）

<午前の部> (ZOOM Webinar)：10時～12時20分

行政説明(内閣府男女共同参画局・文部科学省・警察庁)、講演(山本 潤さん)、ユースプロジェクト報告会

<午後の部> (ZOOM Meeting)：13時～17時30分

講演(大久保真紀さん、長 香織さん)、デートDV予防教育効果測定調査報告、交流会(デートDV防止全国ネットワーク役員らと小グループに分かれて語りあふ)、特別講演(伊藤詩織さん)、大会宣言  
 ＊本イベントは録画の後日配信は行いません。

【参加費】会員募集特別キャンペーンとして、「正会員」または「賛助会員」の方の参加費を無料

参加費：一般3000円/学生無料 ＊開催3日前以降に、参加者の皆様へZOOMのID送ります

但し、NPO法人デートDV防止全国ネットワーク会員は無料

2022年度(2022年4月～2023年3月)の会員の方

正会員1万円・賛助個人会員3千円・賛助団体会員1万円より2名までは無料

＊Peatix会員受付と支払可能です。

【参加申込】Peatixよりお申込みとお支払いをお願いします。右のQRコードよりアクセス可能

<問合せ> NPO法人デートDV防止全国ネットワーク

電話：080-4956-7234 FAX：045-755-7007 メール：[ddvbousinet@yahoo.co.jp](mailto:ddvbousinet@yahoo.co.jp)



## DV防止ながさきの電話相談

暴力を我慢する必要はありません。週4日、夜も電話を受け付けています。何度かけても構いません。秘密は守ります。名前を言う必要はありません。夫や恋人との関係、今のこと、昔のこと、心に引っ掛かっていることをとにかく話してみませんか？必要があれば専門機関へつなぐこともできます。

※ 面接は要予約です。安全な場所でお話を伺います。

月・水・土	13:00～17:00	☎	095-832-8484
月・水	19:00～21:00	☎	095-832-8484
火	17:00～20:00	☎	080-2794-8022